

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	薬事衛生課	職	課長	氏名	松田 豊久
評価者	組織	薬事衛生課	職	課長	氏名	中村 博之

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年)	現状値		評価
					(年)	(年)	
施策1	危険ドラッグ対策の推進	危険ドラッグに係る検挙人員	人	0 (R1)	0 (H30)	0 (R1)	B
施策2	食の安全・安心の普及啓発	いしかわ食の安全・安心・おもてなし認証店数 (累積)	店	300 (R1)	260 (H30)	290 (R1)	C

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	これまでの有効性	今後の方向性
					(年)	(年)						
施策1	危険ドラッグ対策の推進	危険ドラッグに係る検挙人員	人	0 (R1)	0 (H30)	0 (R1)	1 危険ドラッグ等薬物乱用防止対策推進費	県民	1,032	881	B	継続
施策2	石川県の食の安全性を県内外にPR	いしかわ食の安全・安心・おもてなし認証店数 (累積)	店	300 (R1)	260 (H30)	290 (R1)	1 食の安全・安心普及啓発事業	県民、来県者	1,000	1,000	B	継続

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 危険ドラッグ等薬物乱用防止対策推進費	事業開始年度	平成26年度	事業終了予定年度	
	根拠法令	医薬品医療機器等法		
	・計画等	石川県薬物の濫用の防止に関する条例		

作	組	織	薬事衛生課		
成	職	・氏名	技師 中田 宏伸		
者	電話番号	076 - 225 - 1442 内線 4159			

事業の背景・目的
 近年、危険ドラッグに関する事件・事故が後を絶たず、大きな社会問題となっている。このような状況に対し、県では、危険ドラッグの販売や使用を独自に規制する条例を制定し、早期の流通制限を図ることで、健康被害の発生や重大な事故を予防しているところである。
 また、警察等捜査機関の取締による供給の遮断や、危険ドラッグが有する弊害の周知による需要の根絶など各関係機関が連携して総合的に薬物乱用防止に取り組んでいる。

事業の概要
 1 薬物審査会の開催
 石川県薬物の濫用の防止に関する条例に基づく「知事指定薬物」、「知事監視製品」の指定委員は5人以内で組織し、法律又は薬学に関し優れた識見を持つ者のうちから知事が任命する。
 (任期2年 H30.10.30～R2.10.29)

2 危険ドラッグの分析
 知事指定薬物等の分析(保健環境センター)

3 危険ドラッグ相談ホットラインの運営
 危険ドラッグに関する相談や製造・販売についての通報先となる24時間対応の相談ホットライン

4 県民への普及・啓発
 大学生や社会人を対象とした啓発活動の実施(講習会等)

施策・課題の状況					
施策	危険ドラッグ対策の推進	評価	B		
課題	危険ドラッグ対策の推進				
	指標	危険ドラッグに係る検挙人員	単位	人	
	目標値	現状値			
	令和元年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	0	4	0	0	0

事業費						
(単位:千円)						
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	1,680	1,400	1,400	1,032	1,032
	決算	1,657	1,209	1,252	905	881
一般	予算	1,680	1,400	1,400	1,032	1,032
	決算	1,657	1,209	1,252	905	881
事業費累計		4,292	5,501	6,753	7,658	8,539

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B 大学生や社会人を対象とした薬物乱用防止講習会を18回開催し、延べ909名に対し普及啓発を行うことで、薬物乱用による健康被害の未然防止に努めた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 H28年度以降危険ドラッグに係る検挙人員が0人を達成しているが、薬物乱用を未然に防ぐためには、若者世代に継続して啓発していくことが重要であるから、引き続き出前講座等に取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	食の安全・安心普及啓発事業	事業開始年度	H27	事業終了予定年度		
		根拠法令	食品安全基本法、石川県食の安全・安心推進条例			
		計画等				

作成者	組織	薬事衛生課食品安全対策室			
	職・氏名	技師 佐々木 藍美			
	電話番号	076 - 225 - 1443 内線 4160			

事業の背景・目的

北陸新幹線の開業を契機に、本県の大きな魅力である食を目的に多くの観光客が来県するため、観光客及び県民に安心して本県の食を楽しんでもらえるよう、これまでの基本方針をもとに「石川県食の安全・安心推進条例」を策定した。石川の食の安全性を県内外にPRする。

事業の概要

〇いしかわ食の安全・安心・おもてなし店認証事業への補助
 (公社)石川県食品衛生協会が認証する「いしかわ食の安全・安心・おもてなし店」について事業者が認証を受けるために受講が必要な「おもてなし講座」や、事業者の衛生管理のレベルアップを図る「ステップアップ衛生管理セミナー」の開催経費等について補助する。

- (1)おもてなし講座
 - ・R元年度開催実績 5回
- (2)ステップアップ衛生管理セミナー
 - ・R元年度実績 6回(8/29、9/5、9/12、9/17、10/18、2/19)参加者548名

【いしかわ食の安全・安心・おもてなし店認証店舗数 (R2.3.31現在)】

	年度新規登録	年度取消※	年度小計	年度末累積件数
H27	105店舗	2店舗	103店舗	103店舗
H28	54店舗	2店舗	52店舗	155店舗
H29	76店舗	2店舗	74店舗	229店舗
H30	38店舗	7店舗	31店舗	260店舗
R元	34店舗	4店舗	30店舗	290店舗
計	307店舗	17店舗	290店舗	

※取消理由 更新無し等

施策・課題の状況						
施策	食の安全・安心の普及啓発				評価	C
課題	石川県の食の安全性を県内外にPR					
	指標	いしかわ食の安全・安心・おもてなし認証店数(累積)			単位	店
	目標値	現状値				
	令和元年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	300	103	155	229	260	290

事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	2,000	1,600	1,280	1,280	1,000
	決算	2,000	1,600	1,271	1,280	1,000
一般	予算	2,000	1,600	1,280	1,280	1,000
	決算	2,000	1,600	1,271	1,280	1,000
事業費累計		2,000	3,600	4,871	6,151	7,151

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	おもてなし講座を5回開催し、77名の受講があった。また、ステップアップ衛生管理セミナーにはH30年度を上回る548名の受講があり、食品衛生記録の普及など、事業者の自主衛生管理の向上に役立った。目標を下回るもののR元年度は新たに34店舗を認証し、認証店舗数は290店舗となった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、認証店舗の増加に向け、飲食店、各種販売業者にも重点的に周知するとともに、講座、セミナー開催に取り組み、事業者のおもてなしの向上と自主衛生管理を図る。